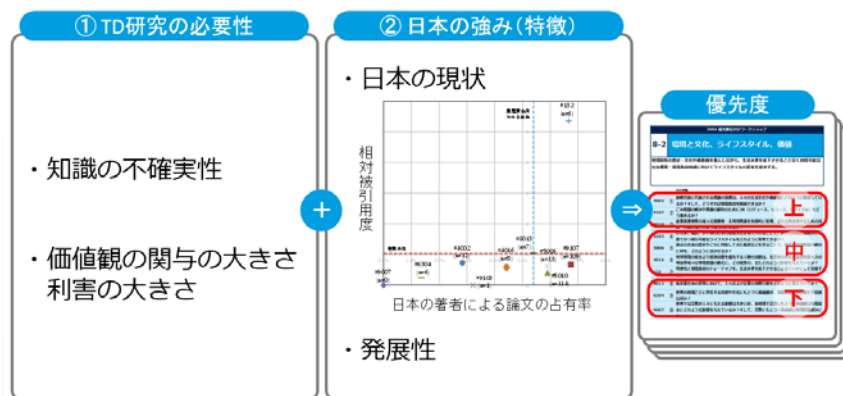


JSRA ワークショップで選ばれた優先課題群と研究課題に基づいて、課題群ごとに3名ずつの研究者・ステークホルダーが集まり、それぞれの課題群に含まれる研究課題について、超学際研究の必要性和日本の強みの2つの視点から優先度を検討した。



2つの視点

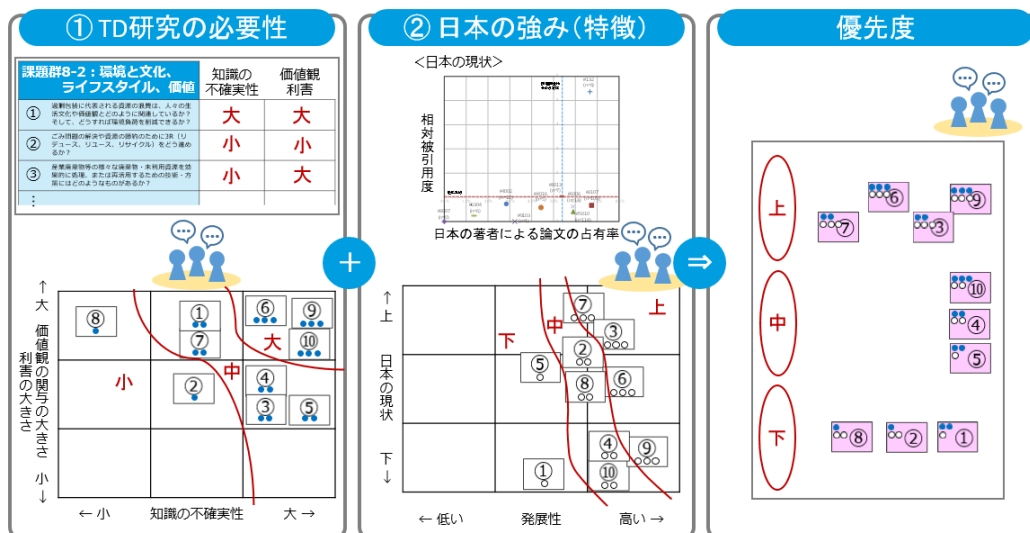
(1) 超学際研究の必要性

本調査研究では、専門家を招いての勉強会や、超学際研究に携わるアジア諸国の研究者によるワークショップを通して、超学際研究の評価の目的や指標について検討を行った。その結果をふまえ、本ワークショップでは、「知識の不確実性」、「価値観の関与の大きさ」、「利害の大きさ」といった3つの観点をを用いて超学際研究の必要性を評価した。

(2) 日本の強み(特徴)

本調査研究では、日本がどのような研究分野で国際的にインパクトのある研究を行ってきたかを俯瞰するために、学術文献データベースを用いて、日本が強みを持つ研究領域を検討してきた。本ワークショップにおいては、各課題群における議論の材料として以下の2種類の資料を作成し、「日本の現状」と「発展性」の2つの観点から日本が優先的に研究すべき課題を検討した。

- ・ 相対被引用度 (CNCI) と日本の占有率に基づいた日本の研究の国際的位置づけ (トムソン・ロイターの InCites Benchmarking を使用)
- ・ 日本の論文数 (国立情報学研究所の CiNii Articles を使用)



JSRA 優先順位付けワークショップ 参加者

- 課題群 1 「食料の持続的な生産・加工・流通・消費」 2016年6月9日(木) 9:00~12:00
ファシリテーター：蛭名 邦禎、ハイン・マレー 記録：西村 武司
参加者：・野林 厚志(国立民族学博物館文化資源研究センター 教授)
・梅津 千恵子(京都大学大学院農学研究科 生物資源経済学専攻 教授)
・Steven Mcgreevy(総合地球環境学研究所 准教授)
- 課題群 2 「温暖化の予測・影響・適応・緩和」 2016年6月8日(水) 13:30~16:30
ファシリテーター：大西 有子 記録：林 憲吾
参加者：・島谷 幸宏(九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 教授)
・江守 正多(国立環境研究所地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室長)
・安成 哲三(総合地球環境学研究所 所長)
- 課題群 3 「生物多性と生態系保全」 2016年6月21日(火) 13:30~16:30
ファシリテーター：大西 有子 記録：西村 武司
参加者：・吉田 雄一朗(広島大学大学院国際協力研究科 (IDEC) 教授)
・東梅 貞義(世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン) 自然保護室 室長)
・奥田 昇(総合地球環境学研究所 准教授)
- 課題群 4 「地球環境の変化がもたらす健康への影響」 2016年6月8日(水) 9:00~12:00
ファシリテーター：ハイン・マレー 記録：林 憲吾
参加者：・大塚 健司(日本貿易振興機構(ジェトロ) アジア経済研究所 新領域研究センター
環境・資源研究グループ グループ長 主任研究員)
・春日 文子(国立研究開発法人国立環境研究所 特任フェロー)
・門司 和彦(長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授)
- 課題群 5 「持続可能なエネルギー・資源の開発・アセスメント・管理・イノベーション」
ファシリテーター：伊藤 真之 2016年6月10日(金) 13:30~16:30
参加者：・杉山 昌広(東京大学政策ビジョン研究センター 講師) 記録：谷口 真人
・谷口 武俊(東京大学政策ビジョン研究センター 教授・工学博士)
・本郷 尚(三井物産戦略研究所 国際情報部 メガトレンド調査センター シニア研究フェロー)
- 課題群 6 「持続可能な地域社会」 2016年6月24日(金) 9:00~12:00
ファシリテーター：ハイン・マレー 記録：西村 武司
参加者：・田中 秀門(亀岡市生涯学習部長)
・傘木 宏夫(特定非営利活動法人 地域づくり工房 代表)
・河野 泰之(京都大学東南アジア研究所 教授)
- 課題群 7 「都市と農村の相互作用」 2016年6月23日(木) 13:30~16:30
ファシリテーター：谷口 真人 記録：西村 武司
参加者：・大塚 隆志(イクレイ日本事務所 事務局長)
・山本 真鳥(法政大学経済学部 教授)
・森 宏一郎(滋賀大学国際センター 教授)
- 課題群 8 「社会経済の発展と環境保全の両立」 2016年6月22日(水) 9:00~12:00
ファシリテーター：大西 有子 記録：林 憲吾
参加者：・西條 辰義(高知工科大学経済・マネジメント学群 教授)
・川上 毅(環境省自然環境局総務課 課長)
・中田 眞佐美(熊本大学グローバル教育カレッジ 教授)
- 課題群 9 「環境と文化、ライフスタイル、価値」 2016年6月6日(月) 13:30~16:30
ファシリテーター：谷口 真人、ハイン・マレー、大西 有子 記録：西村 武司
参加者：・青柳 みどり(国立環境研究所社会環境システム研究センター(環境計画研究室) 室長)
・大竹 暁(内閣府 経済社会総合研究所 総括政策研究官)
・奥谷 三穂(京都府立大学 特任教授)
- 課題群 10 「リテラシー・対話・意思決定」 2016年6月24日(金) 13:30~16:30
ファシリテーター：鶴田 宏樹、谷口 真人 記録：西村 武司
参加者：・加納 圭(滋賀大学教育学部 准教授/一般社団法人社会対話技術研究所)
・中西 忍(日本科学未来館 事業部長)
・田中 幹人(早稲田大学政治経済学術院 准教授
/一般社団法人サイエンス・メディア・センター リサーチ・マネージャー)